

2. 調査結果のまとめ

2 調査結果のまとめ

2-1 調査結果のまとめ方

(1) 前回調査結果との比較方法

- ① 歩行量調査については、前回調査（平成 21 年 12 月 6 日（日）・8 日（火））との比較にあたっては、以下の点に留意した。
- 本調査では、歩行量調査を、前回調査との比較が可能な調査ポイントで実施していることから、調査結果のまとめにあたっては、できるだけ、前回調査結果との比較分析を行うものとした。
 - 平成 15 年度調査より 13 時間調査を実施しているため、今回は原則として、13 時間の比較分析を行うが、平成 9 年度以前の調査（12 時間連続調査）との比較のため、一部、12 時間集計表も併せて掲出する。
 - 調査地点No.40～No.42 については、今回調査より調査地点に加えたため、前回調査における中心市街地歩行量の対比の際には、No.40 からNo.42 までを除いた数値で比較した。
- ② 来街者調査については、前回調査（平成 15 年 12 月 7 日（日）・9 日（火））と比較した。
- 性別・年齢については、表 1-2 の質問項目にはないが、調査時に調査員が確認し、集計を行なった。

(2) 調査地点のエリア別まとめ方

調査結果の分析にあたっては、調査地点を表 2-1 に示す 5 エリアにまとめ、適宜分析を行った。

表 2-1 調査地点エリア区分

エリア名	調査地点名		
JR八王子駅周辺	3. TWIN TOWER前	4. 長崎屋前	
	12. とちの木デッキ下	13-1. 八王子駅北口通路①	
	13-2. 八王子駅北口通路②	14. 八王子駅南口通路	
	15. 三井住友銀行前	17. 日本政策金融公庫前	
	18. 八王子スクエアビル南	19. 八王子スクエアビル西①	
	20. 八王子スクエアビル西②	21. 八王子スクエアビル北	
	22. DYNACITY HACHIOJI 前①	23. DYNACITY HACHIOJI 前②	
	24. マルベリーブリッジ	27. ファモス八王子ビル前	
	28. マロードイン八王子前	29. 駐車場前	
	40. とちの木デッキ上	41-1. 陸橋南①	
	41-2. 陸橋南②	42. 興林寺前	
	京王八王子駅周辺	1. 東放射線①	2. 東放射線②
		16. 京王八王子駅中央口前	36. 京王八王子明神町ビル東①
		37. 京王八王子明神町ビル東②	38. ファルマ802ビル北①
39. ファルマ802ビル北②			
甲州街道沿道 (16号東側)	5. にのみや靴店前	6. 岩崎印店駅前店前	
	7. 理容タイヨー前	8. 小野商店前	
	9. 住宅情報館前		
甲州街道沿道 (16号西側)	10. 宮地楽器八王子センター前	11. ビュータワー八王子前	
	25. 織物会館前	26. みずき通り	
JR八王子南地域	30. 萬友亭前	31. 野猿街道	
	32. 森永産業ビル前	33. SOFT BANK ショップ前	
	34. 早稲田塾前	35. 酔華前	

※太字は新規調査地点

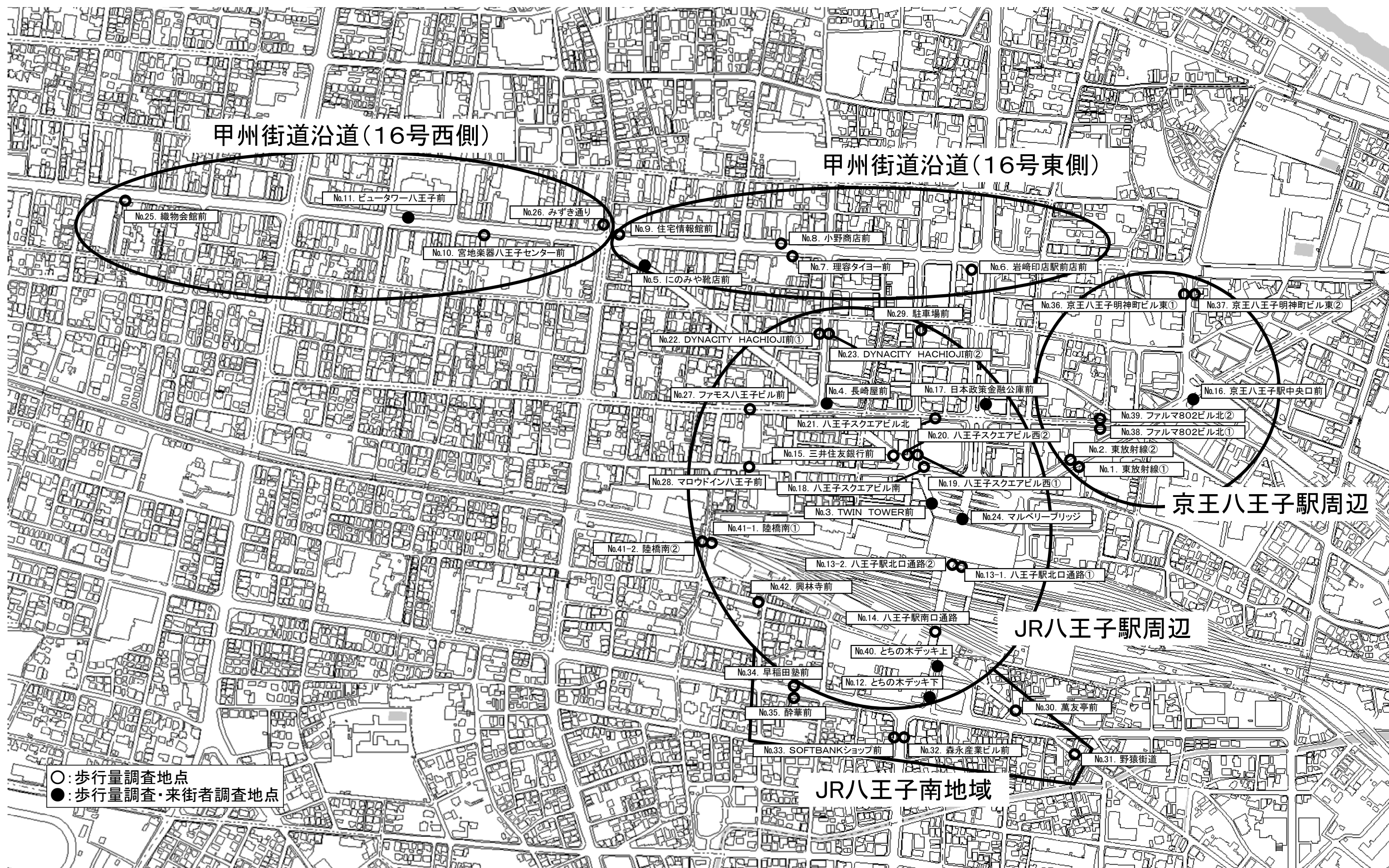


図2-1 調査エリア区分図

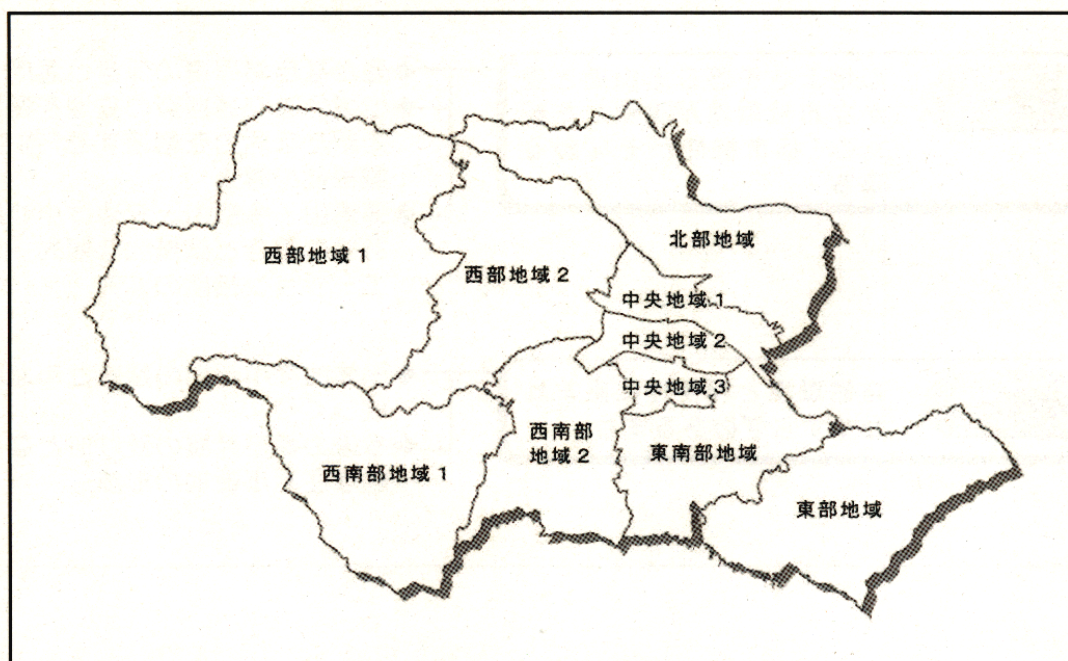
(3) 市内居住者の居住地（町丁別）の地域別まとめ

先の表 1-2 に示したように、来街者実態調査票では、回答者の居住地のうち八王子市内居住者については、町丁名を回答してもらっているが、調査結果の分析に当たっては、都市計画マスタープランで採用された区分を用いた。

【表 2-2 八王子市内居住地区分一覧】

地域名	該当地区
中央地域 1	本庁管内（浅川以北の地域）
中央地域 2	本庁管内（浅川と J R 中央線にはさまれた地域）
中央地域 3	本庁管内（J R 中央線以南の地域）
北部地域	加住・石川事務所管内
西部地域 1	下恩方町、上恩方町、小津町、上川町、美山町
西部地域 2	元八王子事務所管内、西寺方町、川口町、犬目町、榎原町
西南部地域 1	浅川事務所管内（東浅川町を除く）
西南部地域 2	東浅川町、横山・館事務所管内
東南部地域	由井・北野事務所管内
東部地域	由木・由木東・南大沢事務所管内

【図 2-2 八王子市内居住地区分図】



(4) 市外居住者の居住地（市町別）のまとめ

先の表 1-2 に示したように、来街者実態調査票では、回答者の居住地のうち市外居住者については、15の市町とその他から選択回答してもらっているが、調査結果の分析に当たっては、便宜上、下表に示す地域にまとめた。

【表 2-3 市外居住者の居住地区分表】

町田市
日野市
多摩市
立川市・国立市
昭島市・青梅市・福生市・あきる野市・羽村市・瑞穂町
相模原市
藤野町・上野原市・大月市
その他

2-2 調査結果

(1) 歩行量調査結果の概要

《歩行量調査結果》

1. 歩行量調査実施44ポイント全体の歩行量（13時間集計）は、

- ・ 休日は、524,202人、平日は、516,305人（表3-2参照）
- ・ 男女比率（女性歩行量に対する男性歩行量率）では、休日113.6%、平日108.7%で、休日・平日とも男性の方が多い。（表3-5参照）

2. 前回調査実施40ポイント全体の歩行量（13時間集計）との比較では、

- ・ 休日は、500,123人で、62,860人・14.4%の増加、平日は、498,793人で、26,151人・5.5%の増加。
→前は平日の歩行量の方が多かったが今回は休日の方が多い。
- ・ 地点別で歩行量が増加したのは、休日で22地点、平日で16地点。
→八王子駅南口通路（No.14）は、休日154.3%、平日70.3%の増加。
→早稲田塾前（No.34）やSOFTBANKショップ前（No.33）など南口の調査地点は大幅に増加している。
- ・ 地点別で歩行量が減少したのは、休日で18地点、平日で24地点。
→みずき通り（No.26）は、休日15.3%、平日26.9%の減少。
→八王子スクエアビル南（No.18）は、平日21.6%の減少。
- ・ エリア別では、3地区（JR八王子駅周辺、甲州街道沿道（16号西側）、JR八王子南地域）で歩行量が増加。
→JR八王子南地域で休日は、17,054人で35.5%の増加、平日は、19,890人で、18.3%の増加。（以上、表3-6参照）
- ・ 「八王子駅周辺5地点7ポイントの歩行量」（12時間集計）は、休日が232,054人で25.8%の増加、平日が230,811人で9.7%の増加。（表3-10参照）

(2) 来街者調査結果の概要

《来街者調査結果》

1. 利用交通手段

- 中心市街地全体への来街者の利用交通手段は、休日・平日とも、電車利用が約 35%を占め、最も高い。次いで休日は徒歩、バス、平日はバス、徒歩の順となっている。(図 4-1 参照)
- これを市内居住者と市外居住者別に見ると、市内居住者は、休日・平日とも、徒歩、自転車、バスの占める割合が多いのに対し、市外居住者は、基本的に電車利用が多い。(図 4-2 参照)
- 市内居住者の場合、休日・平日とも、「中央地域 2・3」「中央地域 1、北部地域、西部地域 1・2」「西南部地域 1」「西南部地域 2、東南部地域、東部地域」の大きく 4 ブロックで、異なる特徴を示している。「中央地域 2・3」は、徒歩と自転車が主体となっている。「中央地域 1、北部地域、西部地域 1・2」はバス利用が多く、「西南部地域 1」は電車利用が多い。「西南部地域 2、東南部地域、東部地域」は、バスと電車の両方が多くなっている。(図 4-3 参照)

2. 来街頻度

- 来街頻度は、休日の場合、毎日と週 2~3 回の合計が約 57.1%なのに対し、平日は約 65.0%となっており、休日・平日とも高い来街頻度を示しているが、平日の方がより高くなっている。これは平日の場合、来街目的で、仕事及び通勤・通学者の率が休日より高いためであると想定される。(図 4-5 参照)
- 居住地別の来街頻度は、市内居住者の場合、休日・平日とも、毎日と週 2~3 回の合計で約 70%を占めている。しかし、市外居住者の場合、休日と平日では多少異なっている。休日は、毎日という回答は比較的少なく、多い都市で 29%である。休日の、週に 1 回ぐらいと、週に 2~3 回ぐらいを合計した割合で見ると、藤野町・上野原市・大月市以外の都市は、いずれも 40%前後と、都市によつての差は少ない。すなわち、休日の八王子市中心市街地の買い物客の主たる居住地は、市内と町田市、日野市、多摩市、立川市・国立市、昭島市・青梅市・福生市・あきる野市・羽村市の範囲であると考えられる。また、平日の場合は、町田市、相模原市、立川市・国立市、昭島市・青梅市・福生市・あきる野市・羽村市・瑞穂町等が、毎日と週 2~3 回で高い割合を占めている。やはり平日の場合、来街目的で、仕事及び通勤・通学者の率が高いためであると想定される。(図 4-6 参照)

3. 滞在時間

- 滞在時間は、休日は 2 時間くらい、30 分くらい、1 時間くらいの順で比率が高く、平日は 30 分くらい 1 時間くらい、2 時間くらいの順で比率が高い。(図 4-9 参照)
- 居住地別の滞在時間は、市内居住者の場合、休日・平日とも、中央地域 1・2・3、西部地域 2、東南部地域等の、中心市街地に近い地域では、30 分くらいと 1 時間くらいの合計が 50%前後の割合を占めている。市外居住者の場合、休日は市内在住者と比べ、比較的、滞在時間が長い。平日は、休日に比べ、滞在時間が短くなっている。(図 4-10 参照)

4. 来街の目的

- 中心市街地全体の休日の来街目的は、買い物目的が48.8%を占めている。しかし、平日は、38.7%と休日より減少しており、代わりに通勤・通学が31%を占めている。(図4-13参照)
- 市内居住者の来街目的は、休日・平日ともに、買い物目的が多いが、休日は53%であるのに対して平日は46%となっている。また、市外居住者の休日の来街目的も買い物が多いが、平日は通勤・通学が多くなっている。(図4-14参照) 市内居住者の来街目的をエリア別に見ても、各エリアにおいて、休日・平日で買い物目的が高い割合を占めているが、平日の京王八王子駅周辺では、買物が29.3%なのに対し、通勤・通学が45.1%と、通勤・通学が最も高い割合を占めている。(図4-15参照)

5. 買い物目的（購入予定のもの）

- 中心市街地全体の買い物目的は、休日・平日とも、飲食料品が最も多く、次いで日用衣料品となっている。(図4-16参照)
- 年齢別に買い物目的を見ると、年代ごとに買い物目的の特徴が出ている。全般的には、休日・平日ともに、年代が高くなるほど飲食料品の占める割合が高くなっている。60代及び70代以上では、飲食料品の割合が最も高くなっている。(図4-17参照)
- 性別の買い物目的では、多少の差が見られ、休日・平日ともに男性は飲食料品の割合が女性より低く、書籍・CD・文具、家電の割合が高くなっている。(図4-18参照)

6. 八王子駅周辺で買い物に行く場所

- 中心市街地全体の来街者の買い物場所は、休日・平日とも、そごうが最も高く、次いで、東急スクエアとなっている。それ以外は休日と平日で異なっており、休日は、ヨドバシカメラ、南口再開発ビル、長崎屋の順となっているが、平日は、南口再開発ビル、ヨドバシカメラ、京王ショッピングセンターの順となっている。(図4-20参照)
- 買い物場所を年齢別に見ると、休日・平日ともに、そごうは10代~20代より40代以上の方が高い割合を占めており、東急スクエアは10代~20代の方が高い傾向にある。(図4-21参照)
- JR八王子駅周辺の休日は、そごう、ヨドバシカメラ、東急スクエア、南口再開発ビルの順となっており、平日は、そごう、南口再開発ビル、ヨドバシカメラ、東急スクエア、の順となっている。京王八王子駅周辺の休日は、東急スクエア、そごう、京王ショッピングセンター、ヨドバシカメラの順となっており、平日は京王ショッピングセンター、東急スクエア、そごう、長崎屋の順となっている。甲州街道沿道(16号東側)は、休日は、西放射線通りの商店街、そごう、南口再開発ビル、ダイエーの順となっており、平日は、長崎屋、東急スクエア、そごう、西放射線通りの商店街の順となっている。甲州街道沿道(16号西側)の休日は、甲州街道沿いの商店街、そごう、ダイエー、東急スクエア、JR八王子駅周辺商店街の順となっており、平日は、甲州街道沿いの商店街、ダイエー、東急スクエア、そごうの順となっている。(図4-22参照)

7. 八王子駅周辺以外での買い物に行く場所等

- 中心市街地への来街者で、八王子駅周辺以外に買い物に行く場所は、休日・平日とも、最も多いのが立川、新宿である。そこでの買い物ものは、衣服が圧倒的に多い。また、そこでの気に入りの店は、伊勢丹、ルミネが多くなっている。(図 4-23、4-26、4-27 参照)
- これを居住地別に見ると、八王子市、日野市、立川市・国立市では立川の比率が多い。町田市は、立川及び町田の比率が高い。相模原市は、町田、橋本の比率が最も高い。多摩市では、新宿と多摩センターの比率が高くなっている。その他の都市でも立川が高い割合を占めているが、昭島市・青梅市・福生市・あきる野市・羽村市の休日では、新宿も高い割合を占めている。また、市内居住者の居住地別に見ると、中央地域 1・2・3、東部地域では立川、新宿の比率が高く、その他の地域は立川が高い割合を占めている。(図 4-24 参照)

8. 八王子駅周辺に不足していると思われる事柄

- 休日・平日ともに、大型店、オシャレなお店、魅力的な飲食店の回答が多いが、休日は大型店が最も高く、平日は、オシャレなお店が最も高い割合を占めている。(図 4-28 参照)
- これを年齢別に見ると、オシャレなお店は、10代～30代ほど比率が高く、70代以上は、子供や高齢者への配慮、公共交通機関の比率が高くなっている。他に、大型店や、魅力的な飲食店は、どの年代にも共通して10%前後の割合を占めている。(図 4-29 参照)

9. 八王子駅周辺の魅力

- 休日の10～50代までは「魅力がある」という回答が50%以上を占めている。10代と70代以上では「非常に魅力がある」が約25%と他の年代と比べて高い。平日の10代と20～24歳では「魅力がある」という回答が50%以上を占めている。休日と比較すると「あまり魅力がない」という回答が各年代において増加傾向にある。(図 4-31 参照)
- 休日については、性別による回答比率の違いはほとんどなく「魅力がある」が5割以上を占めている。平日は、男性の「非常に魅力がある」と「魅力がある」を合計した割合が58%なのに対し、女性が52%と、若干女性の方が低くなっている。(図 4-32 参照)

10. 八王子駅周辺で欲しい情報

- 休日・平日とも、イベント、店舗、の比率が高い。(図 4-33 参照)
- 年齢別に見ると、休日・平日とも、店舗が、どの年代でも最も高い割合を占めているが、休日の40代はイベントが最も比率が高い。他に、トイレ、文化施設、交通は60代以上で高い割合を占めている。(図 4-34 参照)